

トビウオ通信 (H25 第 1 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 24 年度大型クラゲ出現結果まとめ》

平成 24 年 8 月から 11 月にかけて、島根県海域において定置網、底びき網等で大型クラゲの来遊がありました。昨年度よりも来遊量が多く、多い時で 1 網あたり 50～60 個程度の大型クラゲが確認されましたが、大きな漁業被害はありませんでした。

大型クラゲ洋上調査

2012 年 7 月、8 月および 12 月に、島根県水産技術センター所属の調査船島根丸により、大型クラゲの目視調査と採集調査を行いました。7 月及び 12 月の調査では大型クラゲは確認できませんでしたが、8 月下旬の調査では山口県見島から対馬にかけて 4 個体を採集、また、航海中に対馬から島根県沖にかけて 13 個体を目視で確認しました。

また、この他にも定期海洋観測を行う時に大型クラゲの目視調査を行いました。確認できませんでしたが、

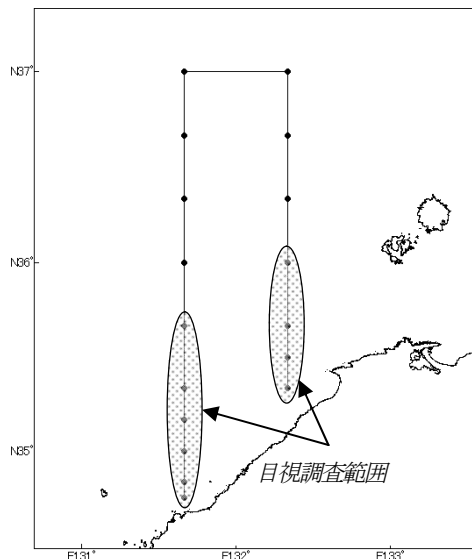


図 1. 8 月初旬と 12 月初旬に行った大型クラゲ目視調査
※出現なし。

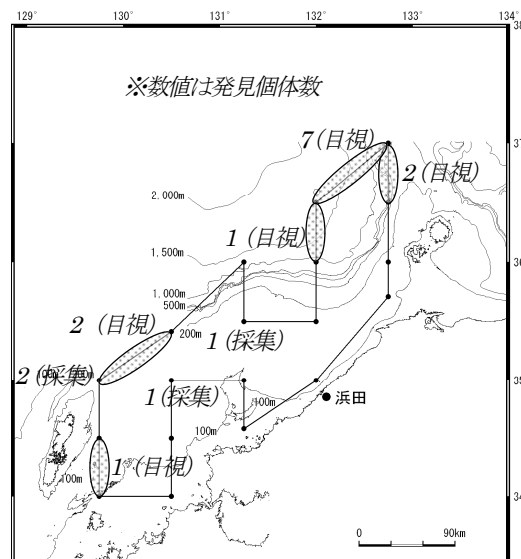


図 2. 7 月下旬と 8 月下旬に行った大型クラゲ採集調査
※7 月下旬は採集、目視とも確認なし。

大型クラゲの入網調査

8 月から 12 月にかけて、県内 4 カ所の定置網漁業者と 8 ヶ統の沖合底びき網漁業者及び 3 隻の小型底びき網漁業者の方から大型クラゲの出現情報を頂きました。定置網では 8 月下旬から 11 月上旬にかけて 1 日当たり 5～6 個体が散発的に入網したほか、9

月上旬から下旬にかけて来遊量が増加し、ある定置網では多い時で1網あたり50個程度の入網が確認されました。沖合底びき網では8月中旬から11月中旬にかけて、主に見島から対馬までの海域で入網が確認され、多い時で1網あたり40個程度の入網情報がありました。小型底びき網では9月上旬から10月下旬にかけて、主に益田市沖付近で入網が確認され、多い時で1網あたり6個程度の入網が確認されました。漁業被害については、選別作業の長時間化などありましたが、いずれの調査でも大きな被害報告はありませんでした。

この他にも、漁業者の方から直接聞き取り調査を行ったり、各水産事務所から大型クラゲの情報収集を行いました。主に定置網からの報告が多く、9月から10月にかけて入網が確認され、多い時で60個程度の入網報告がありました。

全国の大型クラゲ情報

今年度は全国的に大型クラゲの出現情報が昨年度より多く、一部の地域ではピーク時において操業に支障が出ています。7月下旬から対馬沖で入網が確認され、時間の経過とともに東側へと拡散して行き、10月上旬には日本海全域と一部太平洋側において大型クラゲの出現が確認されました。ピークは9月下旬から10月上旬にかけてであり、対馬では定置網で最大250個体が入網が確認されました。10月中旬からは広範囲で大型クラゲが確認されているものの、1網あたり数個体～数十個体程度の散発的な入網に留まり、11月下旬にはほぼ終息した模様です。

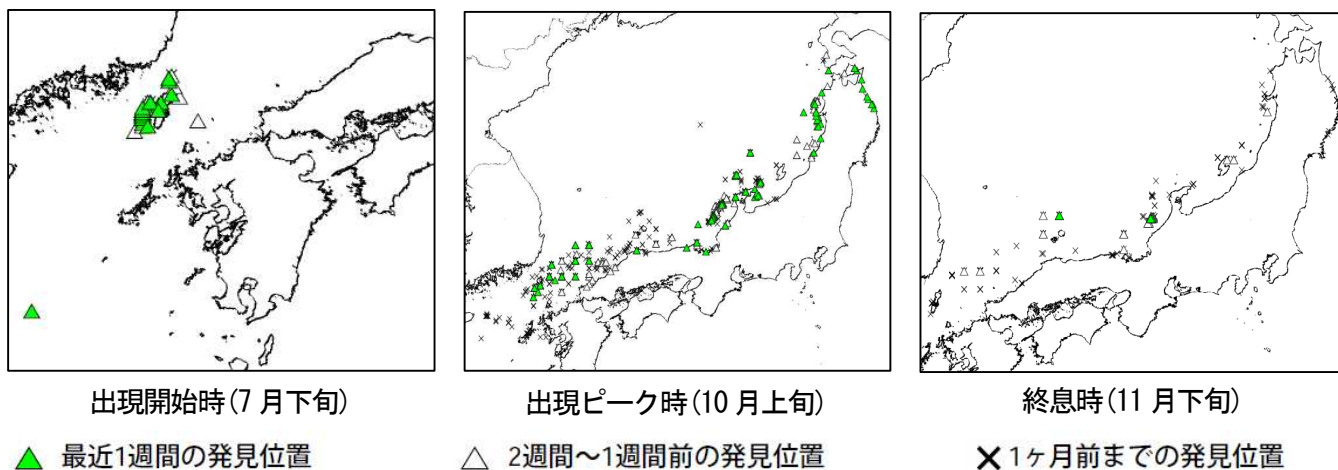


図3. 大型クラゲ出現状況の経緯

来年度について

来年度の大型クラゲの発生や来遊についてはまだわかりませんが、過去2年間はほとんど来遊が無かったクラゲが今年度に入って増加したことから、来年度も来遊する可能性は十分考えられます。大きな漁業被害はなかったとはいえ、選別作業が長引くなど細かなトラブルは発生しており、今後も漁業被害が発生する可能性が考えられます。

引き続き、来年度も大型クラゲの動向について注意していきたいと思えます。